

進路学習指導内容表（特別支援学校高等部）

項目	小項目	学習内容	進路学習指導資料		進路相談資料	私たちの進路 対応ページ	
			解説シート	授業案			
①自分のこと 自分のことを理解する。	自分のおいたち	生まれた頃のこと、小・中学校の頃のこと				P5～7	
	自分の好きなこと、よいところ	自分のこと、長所・短所				P8～9	
	自分のからだ	身長、体重、血液型、服薬、視力				P10～11	
	自分の家族	家族構成、年齢				P12	
	自分の家	住所、電話番号、最寄りの駅やバス停				P13	
	家庭での仕事や手伝い	家族の一人として手伝いをする	No. 9 手伝いをしよう	No. 9	No. 1, 10	P14	
	生活のスケジュール	一日・一週間のスケジュール	No. 1 夏休みの過ごし方 ※	No. 1	No. 1, 11	P15～16	
	休日の過ごし方	週末・長期休業中の過ごし方				P17～18	
	学校の友だち	友だち、係・委員会				P19	
	ほくの夢、私の夢	将来やりたいこと				P20	
②働くこと 仕事について理解する。	家族の仕事	父母の仕事について調べる				P23	
	学校や家のまわりの仕事	学校内で働いている人	No. 5 仕事について考える①	No. 5	No. 5	P24～25	
	いろいろな仕事	職名、職種				P26～27	
	仕事の仕方	働く場所、身に付ける物				P28～31	
	働く人の一日	働いている時間帯				P32～33	
	ものが作られて、私たち のところにとどくまで	カレーライスから生産と流通を考える				P34～37	
	職場見学	仕事先調べ、自分が働きたい職場				P38～40	
	健康管理	生活習慣、食べ物と栄養、体力作り、肥満				P43～47	
	③働くために 働くために必要な知識を身に付ける。	清潔	清潔な身なり	No. 8 清潔な身なりを考えよう	No. 8	No. 9-1 No. 9-2	P48～49
		身だしなみ	身だしなみ、衣服の調整、場に合った服装	No. 4 身だしなみ	No. 4	No. 4	P50～51
人とのつきあい		あいさつ、返事、言葉遣いと態度				P52～53	
マナー		食事、公共交通機関の利用、待ち合わせ、電話				P54～56	
金銭の管理		小遣い帳、貯金、いろいろなカード				P57～58	
進路を決めるには		自分で進路を決めるために大切なこと				P61	
進路先		一般事業所、福祉サービス事業所、専門学校				P62～63	
進路を決めるまで		進路決定までの流れ				P64～65	
進路について相談できる ところ		学校以外の相談支援機関				P66～67	
履歴書の書き方		履歴書の様式				P68～69	
資格が必要な職業	試験に合格する必要がある仕事				P70		
④進路を考える 様々な進路があることを知り、自分に適した進路を選択する。	現場実習	実習先の情報、目標、面接の準備と受け方、通勤の仕方	No. 2 現場実習の準備～自己紹介・打合せ～	No. 2	No. 2, 12 No. 6 (現場実習壮行会の原簿)	P73～76	
	実習中の生活	通勤中のトラブルの対処、実習中の日課、健康管理、身だしなみ、休憩時間の過ごし方、休日の過ごし方	No. 6 現場実習に向けて～心構え～	No. 6	No. 13	P77～81	
	実習日誌	実習日誌の使い方	No. 3 現場実習に向けて～目標を考える～	No. 3	No. 3	P82～83	
	実習後のまとめ	実習の振り返り、卒業までに努力すること	No. 7 現場実習の事後指導	No. 7	No. 7 No. 8	P84～86	
	社会人の生活	学校時代と卒業後の生活の違い				P89～92	
	卒業後の健康管理	健康診断、生活習慣病とストレス、酒とたばこ				P93～96	
	経済生活	給料と生活費、貯金、悪質商法				P97～100	
	人とのつきあい	人とのつきあい、冠婚葬祭、男女交際				P101～104	
	余暇の過ごし方	休日の予定を立てる、地域のサークルへの参加、携帯電話の使用				P105～108	
	生活の場	グループホームや社員寮での生活、一人暮らし				P109～113	
⑤社会人になる より良い生活ができるように、社会生活に必要な知識を身に付ける。	困ったときは	困ったときに相談に乗ってくれる機関				P114～116	
	知っておきたいきまりや制度	選挙権、税金、年金、療育手帳、給料、休暇、保険制度				P117～121	
	将来のこと	人生の設計				P122～123	
	進路相談資料						
	ワークシート						
	授業案						
	解説シート						
	進路学習指導資料						
	現場実習						
	生活費のシミュレーション						
グループホーム							

夏休みの過ごし方

授業案 No.1	ワークシート No.1、11	私たちの進路 P15~18	主な対象 1年
-------------	-------------------	------------------	------------

<ねらい>

- ・夏休みの予定や一日の過ごし方をまとめることで、自ら規則正しい生活と行動ができるようにする。
- ・夏休みを利用して、施設体験や公共交通機関の利用の練習をする。



<教師の問いかけ>

- ・夏休みの予定をまとめて、自分のスケジュールを立てましょう。
- ・予定に合わせて、どんな一日のスケジュールにするとよいでしょうか。



<生徒の活動>

- ・夏休みの予定表に、部活動や実習当番、登校日、施設実習などの予定を記入する。
- ・一日のスケジュールを考えて記入する。

指導のポイント



「自分の予定を理解して、自分から行動する」

最終的に目指す力は、一人で長期の予定や一日の流れに見通しを持って行動できることです。教師は『自分のことだから、自分でできるのが当たり前』という思いから、「何でやらないの?」「○○しなさい!」と言葉が強くなってしまいがちですが、周りから言われるとやる気をそがれてしまう、難しい年頃でもあります。見通しを持つための手助けになるように、ワークシートを使って、自分の予定をまとめる学習をしてみましょう。

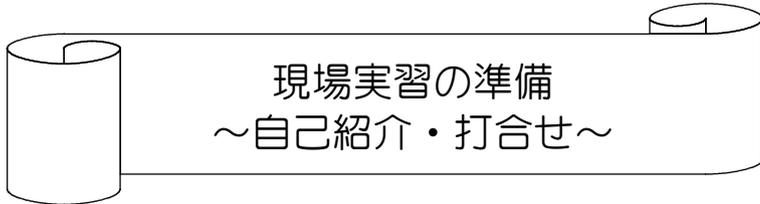
自分で行動できない場合は、「どんな予定だったかな?」と生徒自身の思考を促し、自分で考えて活動できたときには「さすが高校生になると違うね」と自己肯定感を高められるような言葉かけをしてみましょう。

「長期休みを有効に活用しよう」

長期休みは、電車やバスを利用しての登校の練習、自転車の練習をするチャンスです。公共交通機関や自転車を安全に利用することで、卒業後の就労先や福祉サービス事業所の選択肢や、余暇の過ごし方の幅も広がります。もちろん、保護者の理解と協力が必要ですから、事前の個別面談等で生徒の実態に合わせて提案しておきましょう。

また、長期休みを利用して、福祉サービス事業所の体験やグループホームの見学をしてみましょう。どの学校も年に数回の現場実習を行っていると思いますが、必ずしも実習期間中に受け入れをしてくれるとは限りません。時間的に余裕のある長期休みを活用して、実習をしておくのが得策です。

なお、施設の体験は日中一時支援事業という福祉サービスの利用として、受給者証の申請が必要になる場合があります。手続きには時間がかかりますので、事前に市町村の福祉課や地域の相談支援事業所に相談しましょう。



授業案 No.2	ワーク シート No.2, 12	私たちの 進路 P73~76	主な対象 1年
-------------	------------------------	----------------------	------------

<ねらい>

- ・ 現場実習の打合せについて知り、自己紹介と打合せの仕方を身に付ける。

<教師の問いかけ>

- ・ 現場実習先へ行って、実習の打合せをします。どんな準備をすればよいのでしょうか？

<生徒の活動>

- ・ 現場実習の打合せと自己紹介について知り、練習をしてみる。

指導のポイント

「自己紹介は、ゆっくり、はっきり」

自己紹介はとても緊張します。内容は簡単な方がよいでしょう。「〇〇特別支援学校1年の□□□□です。よろしくお願ひします。」をベースに、生徒の力に合わせて実習期間や目標を付け加えてみましょう。

緊張すると早口になってしまうことがあります。ゆっくりでもよいので、はっきりと話す練習をしましょう。また、「大きな声で」と言うと、怒鳴り声になってしまう生徒がいます。声の大きさをイラストで示した「声のものさし」を使って、その場にあった声の大きさを意識できるように伝えましょう。

姿勢は背筋をまっすぐに伸ばし、相手の顔を見て話すようにします。まずは、教室で教師や友だちに向かって練習してみましょう。慣れてきたら、声の届き方が異なる場所（ベランダ、体育館、校庭など）で、繰り返し練習して自信を付けましょう。

「メモを取る」

実習の打合せは、教師、保護者、実習先の担当者と話が進みがちですが、生徒自身も参加できるようにメモを取らせましょう。日頃からメモ帳を持ち歩き、大事な連絡はメモを取る習慣を付けておくことが大切です。現場実習日誌に実習先の名前、日程、仕事内容や持ち物など、基本情報を書く欄があると思います。事前にその内容を確認して、打合せで何を聞けばよいか、メモ帳へ記入させておきましょう。また、自力で通勤する予定があれば、大まかな通勤ルートや公共交通機関の時刻表も調べておく必要があります。

現場実習に向けて
～ 目標を考える ～

授業案 No.3	ワーク シート No.3	私たちの 進路 P82～83	主な対象 1年
-------------	--------------------	----------------------	------------

<ねらい>

・ 前回の現場実習（校内実習）を振り返り、現場実習の目標を考える。



教師

<教師の問いかけ>

- 写真や動画、実習日誌を見ながら、前回の実習を思い出してみましょう。
- 今回の実習では、どんなことを目標にして取り組むとよいでしょうか？



生徒

<生徒の活動>

- 前回の実習を振り返り、よくできたこと、課題になったことを思い出す。
- 自分の課題を理解し、どうすれば目標を達成できるのかを考える。

指導のポイント



**「スモールステップで、
その実習期間中に達成可能な、
生徒が理解できる具体的な目標を」**

日頃、教師から「集中しなさい」や「大きな声で」と言葉をかけられている生徒は、「集中して作業に取り組む」や「大きな声で報告、連絡する」という目標を考えます。しかし、「集中しなくちゃ！」と頭で考えるだけで目標を達成するのは難しいことです。実習の目標には、生徒自身が理解できる具体的な手立てを用意しましょう。例えば、「集中する」ための意識づけとして、作業量に着目してみます。数が意識できる生徒であれば、目標の個数を目指して黙々と取り組み、それが結果として「集中した」ことになるわけです。

※作業場所の位置（道具は使いやすい配置になっているか？周りに気になるものがないか？）、椅子や机の高さ（足が床に着いているか？姿勢は苦しくないか？）など、環境を整えることで解決する課題もあるので、巡回時に実習先の様子をよく観察しましょう。

<その他の例>

実態：「あいさつ、報告の声が小さい」 → 願い：「大きな声を出してほしい」

↓

実習の目標：「大きな声であいさつ、報告をする」

↓

生徒の気持ち：恥ずかしい。自分なりに声は出しているのに…。

↓

具体的な目標：「相手に聞こえるように、目を見てあいさつ、報告をする」

↓

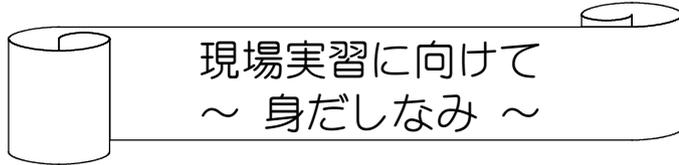
結果：あいさつが伝わったら、相手も笑顔であいさつしてくれた！
報告したら、「ハイ」って返事してくれた！

↓

できたという実感！！

↓

目標達成！！またがんばるぞ！！



授業案 No.4	ワーク シート No.4	私たちの 進路 P50~51	主な対象 1年
-------------	--------------------	----------------------	------------

<ねらい>

・「おしゃれ」と「身だしなみ」の違いを知り、職場に合った服装が分かる。



<教師の問いかけ>

- ・「おしゃれ」と「身だしなみ」は、どのように違うのでしょうか。
- ・職場に合わせた服装や髪型を考えてみましょう。



<生徒の活動>

- ・学校へ行く日の服装と、休みの日の服装の違いを考えてみる。
- ・通勤するときや通所するときの服装は、何に注意をすればよいかを考える。

指導のポイント



「おしゃれ」と「身だしなみ」

「おしゃれ」：ファッションを楽しみ、個性を表現すること。

「身だしなみ」：清潔感のある服装や髪型、洗髪、洗顔など、自分のことよりも相手に不快感を与えないこと。

職場では、仕事に適した「身だしなみ」が優先されます。危険な道具を使ったり、危険な場所で作業をしたりする会社では、安全のために常にヘルメットを被ったり、長袖の作業着を着用したりするところもあります。また、食品関係の仕事では、爪を伸ばしたりマニキュアを塗ったりすることが禁止されていたり、髪を縛らなければならなかったりする職場もあります。

とはいえ、服装や髪型に興味がある時期でもあります。「おしゃれ」は、仕事に差し障りのない範囲で、休みの日に楽しむことができることを伝えましょう。

人は見た目で判断されることがあります。「身だしなみ」がしっかりできていないと、悪い評価をもらって損をすることがあることも伝えましょう。「身だしなみ」について就職活動向けのWeb サイトもありますので、みんなで素敵な大人の価値観を共有しましょう。

仕事について考える①

授業案 No.5	ワークシート No.5	私たちの進路 P24～31	主な対象 1年
-------------	----------------	------------------	------------

<ねらい>

- ・自分の身の回りに様々な仕事があることに気付く。
- ・一つの仕事がたくさんの仕事から成り立っていることを知る。



<教師の問いかけ>

- ・世の中には、どのような仕事がありますか。
- ・自分の好きなことや身の回りにあるものから考えて、発表してみましょう。



<生徒の活動>

- ・イラストや写真を参照しながら、思いついた仕事の名前を発表する。

指導のポイント



「仕事への視野を広げる」

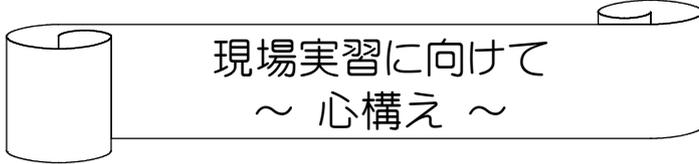
生徒が思い描く仕事は、「飛行機に関わる仕事」というとパイロットやキャビンアテンダント、「自動車に関わる仕事」というと運転手や販売店、整備工場など、まだまだ幅の狭いものです。この他にも、地上係員や整備士、タイヤを作る会社や電気配線を専門にしている会社など様々な仕事があることに気付けるとよいです。

群馬県内にも自動車関連の会社があり、クラッチやエンジン部品のタービン、ドアミラーを動かすモーター、部品の塗装を行っている会社などがあり、実際に卒業生が就職しています。それらが集まって素敵な自動車ができあがっていることも伝えることで、仕事がより身近なものになると思います。

「将来の自己選択のために」

1年生の段階では、実現可能か不可能かは考えず、まずは仕事についての視野を広げ、様々な仕事があることを知ることが大切です。今後、作業学習や現場実習など体験的な学習で実際の仕事に触れることを通して、働くことの大変さややりがい、自分の得意なこと苦手なことなど、仕事への理解を深めることとなります。それらの知識と経験が、将来的には主体的に進路選択できる力につながります。

※「仕事」＝生計を立てる手段として従事する事柄。職業。(デジタル大辞泉)



授業案
No.6

ワーク
シート
No.13

私たちの
進路
P77~81

主な対象
1年

<ねらい>

・現場実習に取り組むための基本的な心構えを知る。



<教師の問いかけ>
・「心構え」とは、「気持ちの準備」のことです。どのような気持ちの準備が必要でしょうか。



<生徒の活動>
・現場実習に向けた気持ちの準備と、実習先や家庭での過ごし方について考える。

指導のポイント



「心構え 7 項目」
※生徒の実態に応じて項目の数を絞って活用してください。

- ① **時間いっぱい最後まで取り組む。**
疲れてくると、腹痛や頭痛を訴えて仕事から離脱する生徒がいます。現場実習は、会社において仕事の勉強をさせてもらっているものです。与えられた仕事は、最後まで責任を持って取り組むことが大切です。
- ② **指示されたとおりに作業をする。**
効率よく仕事ができるように工夫することは大切ですが、職場で決まっている作業手順は、ミスや不良品を避けるために決められた大切なルールです。自分勝手にルールを変えることは避けましょう。
- ③ **大きな声で元気にあいさつや返事をする。**
自分は言ったつもりでも、相手に聞こえていなければ意味がありません。元気なあいさつは、相手に好印象を与えます。
- ④ **具合が悪くなったら実習先の人に伝える。**
①と関連がありますが、本当に体調が悪い場合には、早いうちに伝えましょう。トイレは休憩時間に済ませるのがベストですが、就業時間中に便意を催したら、恥ずかしがらずに許可を得ましょう。
- ⑤ **実習日誌は毎日書く。**
実習日誌は会社と家庭、学校との情報交換ツールです。また、仕事の記録でもあり、注意を受けたことやほめられたことも記録しておきましょう。また、保護者欄があれば、忘れずに書いてもらうように家庭への協力をお願いしましょう。
- ⑥ **実習中は睡眠時間を十分にとる。**
実習期間中は、気持ちも身体も想像以上に疲れます。早寝早起きを心掛けて、生活習慣が崩れないように注意しましょう。休日は、しっかりと身体を休めて疲れを取るようにしましょう。
- ⑦ **失敗を恐れない。**
間違いや失敗、注意を受けることに過剰に反応してしまう生徒がいます。初めての仕事では、上手いできないことがたくさんあります。会社の人も、実習生がミス無く何でもできるとは思っていません。ミスを繰り返さないように努力をすることが大切であることを伝えましょう。

「日頃の授業からコツコツと」
上記の心構えは、一朝一夕でできるようになるものではありません。日頃の作業学習や日常生活の中でも継続的に指導しておきたい心構えです。

現場実習の事後指導

授業案

No.7

ワークシート

No.7,8

私たちの進路

P84~86

主な対象

1年

<ねらい>

- ・現場実習を振り返る学習を通して、次回の実習への意欲につなげる。



<教師の問いかけ>

- ・ワークシートを使って、現場実習を振り返りましょう。
- ・目標は達成できましたか。心構えは守れましたか。



<生徒の活動>

- ・現場実習を振り返って、ワークシートをまとめたり、自己評価したりする。

指導のポイント



「仕事が嫌いにならないように・・・」

現場実習の振り返り学習をすると、どうしても悪かった部分に目がいてしまいがちです。社会の厳しさを伝えることも大切ですが、悪いところばかり指摘されてしまっただけでは、次の働く意欲にはつながりません。ぜひ良い部分にも目を向けて、肯定的に評価しましょう。

「生徒の自己評価」

生徒が自己評価をすると、自分を客観的に捉えることができず高めに評価してしまう生徒や、逆に自信がなくて低めに評価してしまう生徒など様々です。

高めに評価する生徒は、その前向きな気持ちを活かし、実習先からの客観的な評価も取り入れながら、更によくするための新たな目標につなげていきましょう。

低めに評価してしまう生徒は、教師が巡回指導を行ったときのよかった点や実習先からほめられたことを、具体的に伝えて称賛することが大切です。自己肯定感を高められるようにして、自信を持たせましょう。

「苦手なこと＝不向きな仕事？」

現場実習を重ねていく中で、得意なことや苦手なことが少しずつ分かってくると思います。1年生の段階では、まだ経験が少ないので、様々な「苦手なこと」が見つかると思います。それは、初めてだからやり方やコツが分からず、うまくいかなかっただけという場合があります。苦手だと思い込んでいた仕事が、繰り返し取り組んでいくにつれて得意な仕事に変わってきた例も多々あります。巡回指導の際には、「できない、苦手」の要因がどこにあるのか、どんなやり方やコツが分かるとできるようになるのか、客観的な目を見てアドバイスをすることが大切です。1年生の時点では考えもしなかった仕事が、将来天職になっているかもしれません。

清潔な身なりを考えよう

授業案 No.8	ワーク シート No.9-1,2	私たちの 進路 P48~49	主な対象 1年
-------------	------------------------	----------------------	------------

<ねらい>

- ・ 周りの人からどのように見られるのかを考えることで、清潔な身なりを心がけることができる。



<教師の問いかけ>

- ・ 服を洗濯していなかったり、お風呂に入っていなかったりすると、周りの人からどのように思われるのでしょうか？



<生徒の活動>

- ・ スーパーやレストラン、老人ホームなど、食品を扱ったり人と接したりする仕事では、汚れや臭いがどのような印象を与えるのかを考える。

指導のポイント



「目に付かない汚れ、臭いに注意」

衣服については、見た目で見える「泥汚れや油汚れ」などは気付けるのですが、見た目では分かりにくい「汗の臭いや洗濯物の生乾きの臭い」などは、気付かないうちに周りの人に不快な思いをさせていることがあります。みんなでストーブに当たっていたら、下着の汚れが温まって悪臭を発生した例もありました。

身体については、身体を洗うことや洗髪はもちろんですが、洗顔、髭剃り、爪を切る、鼻毛の処理、歯磨きによる口臭の予防も大切です。ハンカチの携帯も大切なマナーです。早いうちから習慣化させましょう。

「毎日入浴する？ 毎日洗濯する？」

入浴については、家庭の習慣や経済的な理由で、毎日入浴できない生徒がいるのも事実です。洗濯についても、毎日こまめにする家庭もあれば、数日まとめて行う家庭もあります。入浴できない場合は、濡れタオルで身体を拭くだけでも効果があることを教えましょう。

臭いについては、本人や家族は気付いていないことも多く、指導することが難しい問題です。だからこそ、日頃からの入浴と洗濯の意識付けは大切になってきます。

「自分で気付いて、自分で直す」

食品関係や接客の仕事では、衛生チェックを行い、不潔な身なりをしていると注意を受けることがあります。しかし、一般的な職場では「〇〇くん、臭いから作業着を洗濯した方がよいよ！」とか「頭を洗わないと臭いよ！」とは言ってくれません。心の中で「〇〇くん臭いな…」と思っても、言わないのが大人の世界なのです。ですから、「言われなくても大丈夫！」ではなく、自分で気付いて直すのが大人のマナーであることを伝えましょう。



手伝いをしよう

授業案
No.9

ワーク
シート
No.1, 10

私たちの
進路
P14

主な対象
1年

<ねらい>

- ・家庭での手伝いを考え、実践することを通して、働く習慣を身に付ける。



教師

<教師の問いかけ>

- ・学校では、日直や学級の係などの当番がありますね。家では、何か決まった手伝いをしていますか？



生徒

<生徒の活動>

- ・家族の一員として手伝いをすることの大切さを考える。
- ・継続的に家庭でできる手伝いを考える。

指導のポイント



「働く力は、家庭の手伝いから」

面談で家庭の様子を聞くと、小さな頃から家庭での手伝いが習慣化している生徒がいる一方で、学校では積極的に係の仕事に取り組んでいる生徒が、「家では何も手伝ってくれないですね」という話もよく聞きます。今からでも何か始められるとよいのですが、今までやっていなかったことを新しく始めるのはなかなか難しいことです。学校では頑張っている生徒も、家庭に戻れば甘えが出るかもしれません。学校での学習の一環として、家庭でも何か決まった「手伝い＝仕事」ができるように働きかけてみましょう。

「助かるよ、ありがとう」「手伝いチェック表」

手伝いを継続するための原動力は、家族からの感謝の気持ちと言葉です。手伝いチェック表を作って、称賛する機会を作りましょう。大きめの物を作って、家族の目に留まるようにするのもよいですし、連絡帳の裏表紙に貼り付けて、教師も一緒に「頑張ったね」と言葉をかけられる形もよいでしょう。視覚的に表すことで、生徒自身でも達成感を感じられると思います。これらの支援が、最高の動機づけになります。

「手伝いの内容をバージョンアップ」

日頃から手伝いをしている生徒も、その内容が小学校や中学校の頃と変わらないまま続けていることも多いです。「もう高校生だからね！」ということきっかけに、バージョンアップを図りましょう。

(例)

- 「食器を下げる → 食器を下げ、食器を洗う」
- 「洗濯物を取り込む → 取り込んで、たたむ」
- 「玄関掃除 → 掃除機を使ったりビングの掃除」

これらのライフキャリア（生きる力）が、将来のワークキャリア（働く力）に繋がります。

「難しい仕事を頼まれるのは、信頼されている証拠」

任された仕事をしっかりやらないと叱られることもあります。その分やり遂げて感謝された時の喜びも大きいです。その自己有用感が働く喜びに繋がるのです。

解説
シート
No.1

ワーク
シート
No.1、11

私たちの
進路
P15~18

主な対象
1年

題材名 夏休みの過ごし方

- ねらい
- ・夏休みの予定や一日の過ごし方をまとめることで、自ら規則正しい生活と行動ができるようにする。
 - ・夏休みを利用して、施設体験や公共交通機関の利用の練習をする。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
<p>※夏休みの予定については家庭と事前に連絡を取り、部活動や実習当番に参加できる日時と、家族旅行などの予定を確認しておく。また、施設体験や見学、公共交通機関の利用の練習についても、個別面談等で保護者と話を詰めておく。</p>			
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夏休みの予定を発表する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や登校日など、全員に共通の予定や個人の予定も含めて、自由に発表できるようにする。 ・共通の予定と個人の予定は区別して板書する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの予定をワークシートに記入する。(ワークシートNo. 1) ・一日の過ごし方について、どんなことに気を付けて過ごすべきかを考えて、ワークシートに記入する。(ワークシートNo. 11) ・夏休みに頑張りたいことをワークシートに記入する。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や登校日など全員に共通の予定に加えて、事前に調べておいた個人の予定もワークシートに記入するように促す。 ・「〇〇しなければならない」というような押しつけの指導にならないようにする。生徒が「〇〇すればよいのかな」と気付けるような発問をする。 <p><発問例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝は誰かに起こしてもらっていないかな？ ・夜は「早く寝なさい」って言われていないかな？ ・将来、一人暮らしをしたときに、自分で起きることができないとどうなるでしょう？ ・家族の一員として、何か手伝いをしているかな？ <ul style="list-style-type: none"> ・部活動や登校日があることから、夏休み中もいつもと同じ時刻に起床、就寝することで身体のリズムが安定して良いことを説明する。また、卒業後にグループホームや一人暮らしで生活するときには、自分で予定を考えて自分で行動できる力が必要なことを説明する。 ・普段、学校ではできない公共交通機関の利用の練習や福祉サービス事業所の見学体験など、将来に役立つ勉強ができる時間になることを説明する。自分で何をするか分からない生徒には、事前に家庭と連絡しておいた内容を伝える。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの予定と頑張りたいことを発表する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が発表した予定と頑張りたいことを実践できるように、生活のリズムを崩さずに過ごし、充実した楽しい夏休みにしてほしいことを伝える。

解説 シート No.2	ワーク シート No.2, 12	私たちの 進路 P73~76	主な対象 1年
-------------------	------------------------	----------------------	------------

題材名 現場実習の準備（自己紹介・打合せ）

ねらい ・現場実習の打合せについて知り、自己紹介と打合せの仕方を身に付ける。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 自分の打合せの日程を確認する。 現場実習の打合せは、どこで誰と行うかを知る。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> カレンダーを用意して、発表しながら視覚的にも確認できるようにする。 実習先のどのような場所（応接室や事務室）で、誰（教師、保護者、実習の担当者、場合によっては責任者）と実習について話をするかを説明する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の仕方を考える。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> 『学校名、学年、名前、あいさつ』が基本であることを説明する。実習期間や目標を加えてもよい。（ワークシートNo. 12）
	<p><自己紹介の例></p> <p>「〇〇特別支援学校1年の△△□□です。〇月〇日から△月△日までの□日間、現場実習でお世話になります。初めてで緊張していますが、頑張りますのでよろしくをお願いします。」</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介をしてみる。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発表は肯定的に捉え、アドバイスという形で、相手に伝わりやすい声の大きさ、話すスピード、明瞭さについて説明する。
<p><言葉かけの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 怒鳴り声だったとき 「とても大きな声で言えたね。静かな事務所の中では、どのくらいの声の大きさがよいだろうね？」 早口で聞き取れなかったとき 「ていねいに言えたね。初めて聞く名前は聞き取れないことがあるから、どのくらいの速さでしゃべると聞きやすいと思う？」 			
	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友だちに向かって練習してみる。教室やベランダなど、場所を変えて練習してみる。 		<ul style="list-style-type: none"> 話すときの望ましい姿勢や視線について、お互いに気付いたことを伝え合ってみる。 場所によって声の響きが違うことを確認してみる。
	<ul style="list-style-type: none"> 打合せでどんな内容を確認したらよいか考える。 打合せをしながら、メモをとることを知る。 質問の仕方を練習する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習の計画書（ワークシートNo. 2）を用意して、その内容に添って話を進めていくことを伝える。 事前に分かっていることは記入しておき、それ以外の部分を打合せで質問してメモをとる。 教師が相手役になり、「〇〇について教えてください」「〇〇はどうすればよいですか」など、質問を受けてみる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 社会人になると、自己紹介やメモを取る場面がたくさんある。今のうちからたくさん経験しておくこと、将来役に立つことを伝える。

題材名 現場実習の目標を考えよう

ねらい ・ 前回の現場実習（校内実習）を振り返り、現場実習の目標を考える。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 前回の現場実習（校内実習）を振り返る。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習（校内実習）の写真や動画、実習日誌を用意しておき、振り返る手がかりにする。 生徒と一緒に映像を見ながら、どんな会社でどんな仕事を担当したかなど、コメントを加える。よかったことは大いに称賛する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 前回の実習で、自分が頑張ったことやほめられたことをワークシートに記入する。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が取り上げた内容について、「出来て当たり前」と思うのではなく、肯定的に捉える。 頑張ったことやほめられたことが思い浮かばない生徒には、よかったことを思い出せるような言葉かけをする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><言葉かけの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 「報告の声の大きさはどうだった?」「大きな声で言えるようになって、担当の人にほめられたよね」 </div>
	<ul style="list-style-type: none"> 前回の実習で、頑張りが足りなかったことと注意をされたことをワークシートに記入する。 		<ul style="list-style-type: none"> この題材の直接のねらいではないが、実習で注意を受けたり、失敗したりした経験から、実習に対するマイナスイメージが強い生徒も多い。悪かったところの指摘ばかりにならないように注意する。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><言葉かけの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 「最初はおしゃべりをして注意されたこともあったけど、そのあとはどうだった?」「実習の後半はおしゃべりが少なくなって、製品をたくさん作ることができたよね」 </div>
	<ul style="list-style-type: none"> 今回の実習で頑張りたいこと（目標）をワークシートに記入する。 		<ul style="list-style-type: none"> 頑張りが足りなかったことや注意をされたことから、どうすればよくなるかを考えるよう伝える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><言葉かけの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 不良品が多くなってしまった 「不良品を少なくするには、どうすればよいかな」「部品を差し込むところをよく見て作業するのと、雑でもよいから早くたくさん作るのはどちらがよいだろう」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 課題を改善するための具体的な手立てを考えることが難しいときは、教師が助言する。 目標は多くても3つ以内にする。生徒の実態に合わせて減らしてもかまわない。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、自分の目標を発表する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> 「前回の実習では、○○○を注意されたので、今回の実習では□□□という目標で頑張ります」というように、課題に対する具体的な手立てが分かるように発表する。「こうすればできる!」という思いを自信につなげ、前向きな気持ちで実習に臨めるようにする。

解説 シート No.4	ワーク シート No.4	私たちの 進路 P50~51	主な対象 1年
-------------------	--------------------	----------------------	------------

題材名 現場実習に向けて身だしなみを考えよう

ねらい ・「おしゃれ」と「身だしなみ」の違いを知り、職場に合った服装が分かる。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味のある「おしゃれ」について発表する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味がありそうな服装、髪型、小物（時計、バッグ）など、実物や写真、イラストを用意して提示する。難しい場合は、好きな色でもよい。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 「おしゃれ」について知る。 「身だしなみ」について知る。 職業に合った「身だしなみ」を考えて、ワークシートに記入する。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 「おしゃれ」は、自分の好きな服装や持ち物など、自分らしさを表現することである。「おしゃれ」を楽しむことは、生活を楽しむことであり、決して悪いことではないことも伝える。 「身だしなみ」は、清潔感のある服装や髪型、洗髪、洗顔など、自分のことよりも相手に不快感を与えないことが大切であり、職場によってもそのルールはいろいろあることを説明する。 一般的な「身だしなみ」の良い例と悪い例について、写真やイラストを用意して提示する。 工場、食品製造、スーパーマーケットを例に挙げて、帽子の有無、髪の長さ、ひげや鼻毛、爪、服装、靴をポイントに、なぜその身だしなみをする必要があるのか、理由を考える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><言葉かけの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 「工場では、帽子やヘルメットを必ず被らなければいけません。なぜだと思いますか」「そうです、頭を守ってケガを防ぐために、被ることがルールになっているのですね」 「食品製造工場ではどうでしょうか」「食べ物に髪の毛が入っていたら、どう感じますか」「製品を買ってもらえなくなったらどうなるでしょうか」 「爪が汚かったり、ひげが伸びたままだったり、清潔感のない人が接客をしていたら、お客さんどう感じるでしょうか」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の実習先では、どんな「身だしなみ」がよいか考え、ワークシートに記入する。 思いつかない場合は、ワークシートの前の項目から選んでもよいことを伝える。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、実習先に適していると思われる「身だしなみ」について発表する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の回答は肯定的に捉え、他の生徒の意見も聞きながら進める。 それぞれの「身だしなみ」のルールを守ることができるか問いかけてみる。 ※生徒の能力に応じて、『生活にメリハリを付けて人生を楽しむことが、働く力に繋がる』ことも付け加えたい。

解説 シート No.6	ワーク シート No.13	私たちの 進路 P77～81	主な対象 1年
-------------------	---------------------	----------------------	----------------

題材名 現場実習に向けて ～心構え～

ねらい ・ 現場実習に取り組むための基本的な心構えを知る。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「心構え」とは、実習に向けた「気持ちの準備」であることを知る。 現場実習に向けてどのような気持ちなのかを考える。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習の持ち物の準備の他に、気持ちの準備も必要であることを説明する。 ・ 楽しみなこと、不安なことなど、自由に発言させて肯定的に受け止める。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 提示されたイラストや写真を見ながら、現場実習の場面を思い浮かべる。 提示されたイラストや写真について、どんな「心構え」を持ったらよいかを考える。 提示された場面での正しい心構えを知る。 	30分	<p><イラスト例></p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しごと 仕事 つかれたなあ～</p> <p>いた おなか痛いって ウソついて さぼっちゃおう かなあ～</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しごと 仕事をしているとき こんな人は いないかな？</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しごと じかん 仕事は時間いっぱい とく さいごまで取り組もう。</p> <p>げんばいしゅう かいしゃ かい 現場実習は、会社において たすかひ 仕事の勉強をさせてもらってます。 しごと せむしん たのまれた仕事は責任をもって取り組もう。</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 現場実習で想定される場面を思い浮かべられるようなイラストや写真を提示する。 自ら解決策を考えられるように、どのように行動することがよいかを生徒に問いかける。 資料にある「心構え7項目」を提示する。 <p>※教師の話が多くなって一方的な授業にならないようにする。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を振り返る。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 「心構え7項目」は、特別なものではなく、普段の作業学習や日常生活の中でも学習していることである。特別なことに捉えて、生徒が負担に感じ過ぎないように説明する。

題材名 現場実習の事後指導

ねらい ・現場実習を振り返り、次回の実習への意欲につなげる。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習の様子を撮影した映像を見て、現場実習の雰囲気を出し出す。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習の様子を振り返ることができるように、動画や静止画を提示する。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><言葉かけの例></p> <p>映像を見ながら、「これは何をしているところかな?」「この組立はとても頑張っていたね!」など、よかったことを思い出して前向きな気持ちを持てるように、適宜称賛のコメントを伝える。</p> </div>
展開	<ul style="list-style-type: none"> 自分の取り組んだ仕事について、ワークシートに記入する。 実習の目標の達成度と、実習前に確認した心構えが守れたかどうかを自己評価して、ワークシートに記入する。 次回の実習で頑張りたいことを考える。 頑張り具合を自己評価して、ワークシートの「がんばりメーター」に記入する。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 「担当した仕事」「担当者」の意味が難しい場合は、「自分がやった仕事」「仕事を見てくれた人、教えてくれた人」と言い換えて説明する。 振り返りが難しい生徒には、実習日誌を見せたり、巡回指導の時の様子を伝えたりして、思い出せるように促す。 難しい生徒には、ワークシートの目標の達成度や、心構えの自己評価から考えられることを助言する。 数の大小の概念が難しい生徒には、「〇〇くんは、がんばっていたから△△くらいがよいと思うよ」と言葉かけをする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を振り返る。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> みんなでお互いを称賛し合えるように、頑張ったことを中心に発表する。 今回は、今回作成したワークシートを使って、現場実習先へのお礼状を作成することを説明する。

題材名 清潔な身なりを考えよう

ねらい ・ 周りの人からどのように見られるのかを考えることで、清潔な身なりを心がけることができる。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートのイラストを不潔な身なりを表現しているところを見つけて、気づいたところを発表する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートには、衣服のチェックするポイントと、身体をチェックするポイントを明示して、丸印を付けるのもよい。 文字で表記するよりも、生徒には、絵に伝える。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 衣服が汚いと周りの人からどのように思われるかを考える。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が感じたことを言葉で書けるようにする。見た目の汚れだけでなく、臭いや衛生面についても意識を向けられるようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><言葉かけの例> 「汗をかいた体育着を洗わないとどうなるかな？」 「汚い給食着のまま配膳をしているとどうかな？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> イラストを提示して、「毎日」、「洗濯する」という言葉を引き出す。
	<ul style="list-style-type: none"> 身体が汚いと周りの人からどのように思われるかを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストからは分からないが、髪が汚れるとふけが落ちたり、臭いがしたり、伸びた爪の中が黒くなったりすることも説明し、周りの人にどのような印象を与えるのか考える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><言葉かけの例> 「レストランで料理を運んでくる人の手が汚かったらどう思う？」 「バイ菌が付いた手で調理をしたらどうなるかな？」 「汗臭かったらどう思う？」 「スーパーでおつりを渡された手が汚かったらどうかな？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の汚れの話も振り返り、「毎日」、「入浴する」という言葉を引き出す。
	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の清潔と身体の清潔の他に、目につけにくい気配を付けることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の部位のポイントを絞ることで、発言しやすいようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><言葉かけの例> 「あごの周りはどう？」→「ひげ、髭剃り」(男子) 「鼻から何か出ていないかな？」→「鼻毛」(鼻毛カッター知ってる?) 「口や歯はどうか？」→「歯の汚れ、口臭」 「手や指先はどうか？」→「爪」(自分で爪切れる?)</p> </div> <p>※ 「○○くんは□が臭い」「ふけが付いていて汚い」など、友達を中傷することの無いように配慮をする。</p>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、どのようにつけていけるかを発表する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> 「衣服は汚れたら洗濯する」「毎日入浴して体を清潔にする」というポイントで、記入と発表ができているかを確認する。 清潔な身なりは社会人としてのマナーであり、自分で気付いて直すことが大切であることを伝えてまとめとする。

題材名 手伝いをしよう

ねらい ・家庭での手伝いを考え、実践することを通して、働く習慣を身に付ける。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
<p>※手伝いの内容については、事前に家庭へ連絡を取り、実施可能な手伝いをいくつか挙げてもらっておく。</p>			
導入	<ul style="list-style-type: none"> 家で手伝いをしているか、どんなことをしているかワークシート①に記入する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 手伝いをしている生徒に、どんな手伝いか発表してもらおう。「靴を並べる」「新聞を取りに行く」など、簡単な内容の手伝いが挙げられても否定しない。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 手伝いのイメージを考える。 学級での仕事や委員会の仕事をワークシート②に記入する。 学級や家庭での仕事は、誰のためにやっているのかを考えて、ワークシート③に記入する。 手伝いをすると、家族はどんな気持ちになるか考える。また、家族から感謝の気持ちを伝えられると、自分はどんな気持ちになるかを考えて、ワークシート④に記入する。 高等部生として、過去の手伝いよりもバージョンアップした（解説シートを参照）、家族の役に立ち、感謝されるような手伝いを考え、ワークシート⑤に記入する。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 「面倒だ」「嫌だ」「やりたくない」などのマイナスイメージの意見も否定せずに受け止める。 思い浮かばない生徒には、「日直の仕事や給食当番、掃除も仕事の一つ」ということを伝える。 「学級の仕事」＝「みんなのため」。みんなが仕事をしてくれるおかげで、おいしい給食が食べられたり、教室がきれいになったりしていることを話し、感謝の気持ちを伝える 「家庭の手伝い」＝「家族のため」。家族の一員として仕事をするすることで、部屋がきれいになったりご飯が食べられたりする。ほめられたり感謝されたりしたときのうれしかった気持ちを引き出す。 手伝いの内容は、できるだけ自分で考えられるようにする。それぞれの家庭によってできる手伝いは違うので、事前に家庭より挙げてもらった内容になるよう配慮する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの手伝いを発表する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> 手伝いの内容を聞きながらお互いを応援し、意欲につなげる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><言葉かけの例> 「〇〇さんは、食器洗いとご飯研ぎをするそうです。頑張らないと朝ご飯が無くなっちゃう重要な仕事ですね。頑張ってください！！（拍手）」</p> </div>



わたしの^{てつだ}手伝い

をやります！！

できたらシールをはろう！！

7月

日	月	火	水	木	金	土
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	_____年_____組 名前_____		

げんばじっしゅうけいかくしょ
現場実習計画書

1年2組 渋川 太郎

でんわばんごう
 電話番号 027-〇〇〇-〇〇〇〇

げんばじっしゅうさき
 現場実習先 ○×株式会社

じっしゅうさきじゅうしょ
 実習先住所 〇〇市△△町1234

さぎょうないよう
 作業内容 電気スタンドの組み立て

じっしゅうきかん
 実習期間 9月7日(月)から9月18日(金)まで

じっしゅうじかん
 実習時間 8:30から17:00まで

つうきん ほうほう
 通勤の方法 い 行き： 自転車

かえ
 帰り： 自転車

ふくそう もちもの
 服装と持ち物 作業着、タオル

ちゅうしょく
 昼食 弁当依頼(一日500円)

じっしゅう もくひょう
 実習の目標

① _____

② _____

③ _____

このワークシートは、差し込み枠が設定してあります。添付の表計算ソフトのファイル(ワークシート No.2 用データ入力ファイル)に実習先のデータを入力することで、この現場実習計画書に差し込み印刷できます。

学校独自の実習先のデータがある場合は、『宛先の選択』で表計算ソフトのファイルを読み込み、『差し込み文書-差し込みフィールドの挿入』で該当するフィールドに変えることで、このワークシートを活用することができます。

学年	学級	番号	生徒氏名	フリガナ	保護者住所	保護者電話番号	実習先名	実習先住所	作業内容	始年	始月	始日	始曜	終月	終日	終曜	通勤(行)	通勤(帰)	始業	終業	昼食	服装、持ち物	
1	2	9	渋川 太郎	しぶかわ たろう	〇〇市△△街1-2	027-000-0000	〇×株式会社	〇〇市△△街1234	電気スタンドの組み立て	27	9	7	月	9	18	金	自転車	自転車	8:30	17:00	弁当依頼(一日500円)	作業着、タオル	
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							
1																							

現場実習の目標を考えよう

年 組 名前



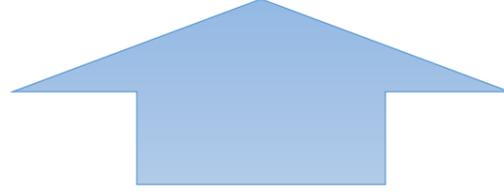
前回の実習でがんばったこと、ほめられたことを書こう

- ① _____
- ② _____
- ③ _____



前回の実習でがんばりがたりなかったこと、
注意をされたことを書こう

- ① _____
- ② _____
- ③ _____



今回の実習でがんばりたいことを書こう

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

み かんが
身だしなみを考えよう

_____年_____組 名前_____

ふくそう み かんが
服装や身だしなみを考えて ○ をつけてみよう。理由もあわせて考えよう。

① きけん きかい こうじょう
危険な機械をあつかう工場

ふく → (ながそで さぎょうぎ ・ はんそで さぎょうぎ)

なぜ？

あたま → (ぼうし ・ ヘルメットをかぶる ・ かぶらない)

なぜ？

くつ → (かわくつ ・ うんどうくつ ・ ながくつ ・ あんぜんくつ)

なぜ？

② べんとう つく こうじょう
お弁当を作る工場

つめ → (のばしたまま ・ みじか き)

なぜ？

かみ け → (みじか ・ なが)

なぜ？

あたま → (ヘアネットをかぶる ・ ヘルメットをかぶる ・ かぶらない)

なぜ？

くち □ → (マスクをする ・ マスクをしない)

なぜ？

どんな仕事かな？

____年____組 名前_____

『しごと』の

※わくがたりないときは、ふやしてもよいです。

げんばじっしゅうそうこうかい げんこう
現場実習壮行会の原稿

____年____組の____です。

わたしは、____月____日から____月____日までの____日間、

____(市・町・村)にある、

____で現場実習をします。

かいしゃ
この会社は、

____です。

しごとないよう
わたしの仕事内容は、

____です。

じっしゅう もくひょう
実習の目標は、

① _____

② _____

③ _____

です。

げんばじっしゅうそうこうかい げんこう
 【記入例】 現場実習壮行会の原稿

1 年 2 組の 渋谷 太郎 です。

わたしは、9 月 7 日から 9 月 18 日までの 10 日間、

前橋市

にある、

じっしゅうさき じゅうしょ しちようそんめい
 実習先の住所（市町村名）

○ × △ 株式会社

で現場実習をします。

かいしゃ
 この会社は、

かいしゃ しごと
 会社のおもな仕事

飲食店で使われているおしぼりを作っている会社 です。

しごとないよう
 わたしの仕事内容は、

よごれたおしぼりを洗濯機に入れたり、洗い終わったおしぼりをたたんだりすること です。

じっしゅう もくひよう
 実習の目標は、

じぶん たんとう しごと
 自分が担当する仕事

① 相手に聞こえる声であいさつをする。

② 目標の数（〇〇〇コ）をめざしてたくさんたたむ。

③ 8時には家を出て、時間によゆうをもって通勤する。

です。

初めての会社なのできんちょうしますが、10日間がんばってきます。

さいご じぶん おもい ひとこと
 最後に自分の思いを一言

げんばじっしゅう ぶり かえ
現場実習を振り返ろう

_____年_____組 名前_____

げんばじっしゅうさき なまえ
◎ 現場実習先の名前は？

せわ たんとうしゃ なまえ
◎ お世話になった担当者の名前は？

じぶん たんとう しごと
◎ 自分が担当した仕事は？

じっしゅう もくひょう たっせい
◎ 実習の目標は達成できましたか？

じぶん もくひょう 自分の目標	◎○△
①	
②	
③	

できた…◎ 少しできた…○ こんどはがんばろう…△

こころがま まも
◎ 「心構え」は、しっかり守れましたか？ ○ をつけましょう。

じかん さいご と く
① 時間いっぱい最後まで取り組みましたか？

(できた ・ 少しできた ・ とちゅうでいやになった)

しじ さぎょう
② 指示されたとおりに作業ができましたか？

(できた ・ 少しできた ・ かってなことをしてしまった)

おお こえ げんき へんじ
③ 大きな声で元気にあいさつや返事ができましたか？

(できた ・ ちょっと小さかった ・ できなかった)

くあい わる じっしゅうさき ひと つた
④ 具合が悪くなったら実習先の人に伝えることができましたか？

(元気だった ・ 言うことができた ・ 言えなかった)

⑤ 実習^{じっしゅう} 日誌^{にっし} は 毎日^{まいにち} 書^か きましたか？

(書^か いた ・ 書^か けない日^ひ もあ^ひ った ・ 書^か な^か った)

⑥ 実習^{じっしゅう} 中^{ちゆう} は しっかり^ね 寝^{やす} て、休^{やす} まないで元^{げん} 気^き に つと^め ま^し たか？

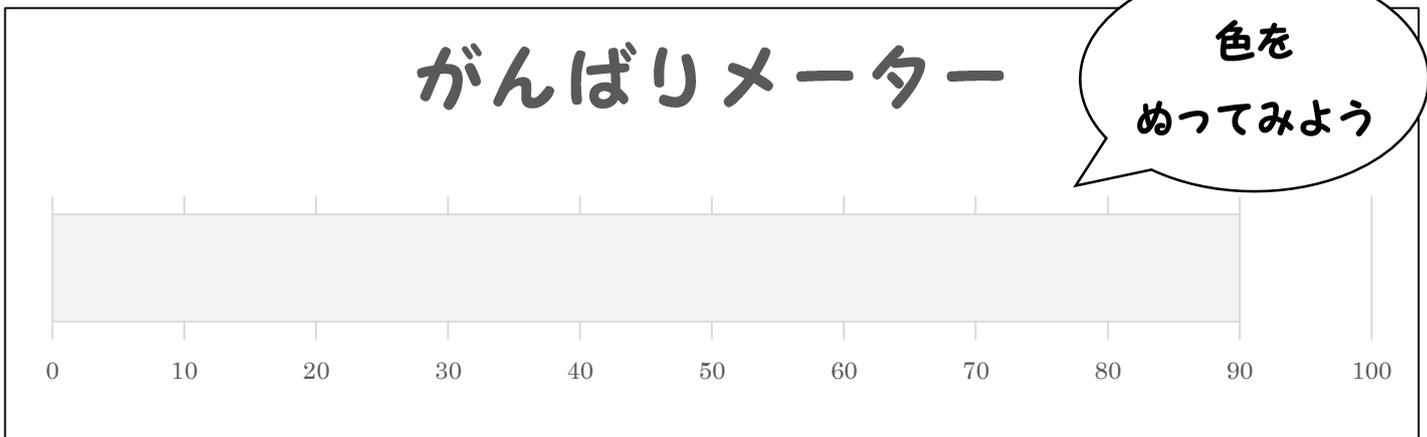
(1日^{いち} も休^{やす} ま^ず 元^{げん} 気^き だ^っ た ・ 少^{すこ} し休^{やす} んで^し ま^っ た)

⑦ 失^{しっ} 敗^{ぱい} を こわ^こ が^わ ら^な いで がんば^ら いましたか？

(がんば^ら った ・ 少^{すこ} しがんば^ら った ・ こわ^こ かつ^た)

◎ 得意^{とくい} な 仕^し 事^{ごと} や 好^す き な 仕^し 事^{ごと} は あり^あ り^ま したか？

◎ 苦^に 手^が な 仕^し 事^{ごと} や あま^あ り 好^す き で は な^な い 仕^し 事^{ごと} は あり^あ り^ま したか？



今回の現場実習^{こんかい げんばじっしゅう} の がんばりポイント^{ポイント} は… P

● 次の現場実習^{つぎ げんばじっしゅう} では、どんなことをがんばりたいですか？

げんばじっしゅうはんせいかい げんこう
現場実習反省会の原稿

_____年 _____組の _____です。

わたしは、 _____月 _____日から _____月 _____日までの _____日間、

_____ (市・町・村) にある、

_____ で現場実習をしました。

わたしの^{しごと}仕事は、

_____ でした。

がんばったことは、

こんど、もっとがんばりたいことは、

げんばじっしゅうはんせいかい げんこう
 【記入例】 現場実習反省会の原稿

1 年 2 組の 渋谷 太郎 です。

わたしは、9 月 7 日から 9 月 18 日までの 10 日間、

〇〇市

にある、

じっしゅうさき じゅうしょ しちょうそんめい
 実習先の住所（市町村名）

〇 × △ 株式会社

で現場実習をしました。

じっしゅうさき なまえ
 実習先の名前

わたしの仕事は、

よごれたおしぼりを洗濯機に入れたり、洗い終わったおしぼりをたたんだりすること でした。

がんばったことは、

じぶん たんとう しごと
 自分が担当した仕事

ねむたかったけど、おしぼりをたくさんたたむことをがんばりました。

じぶん
 自分がいちばん
 がんばったこと

こんど、もっとがんばりたいことは、

いっかいちこくしてしまったので、こんどはおくれないようにします。

もくひょう こころ
 目標や心がまえから
 かんが
 考えてみよう

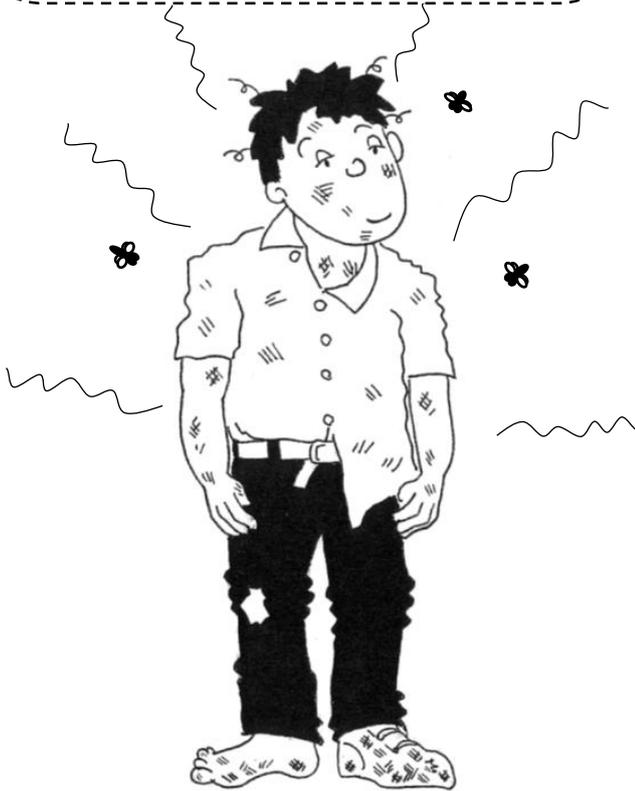
せいけつな身なりを考えよう

_____年 _____組 名前_____

こうこうせい たかさきいちろう
高校生の高崎一郎くん。

き 気になるところをさがかいてみよう。

え まる 絵に○をつけてもいいよ。



<チェックのポイント>

シャツは？

ズボンは？

靴は？

髪は？

顔は？

手は？

どのようなことにきをつけると、せいけつなよいかんじがするでしょうか？



せいけつな身なりを考えよう

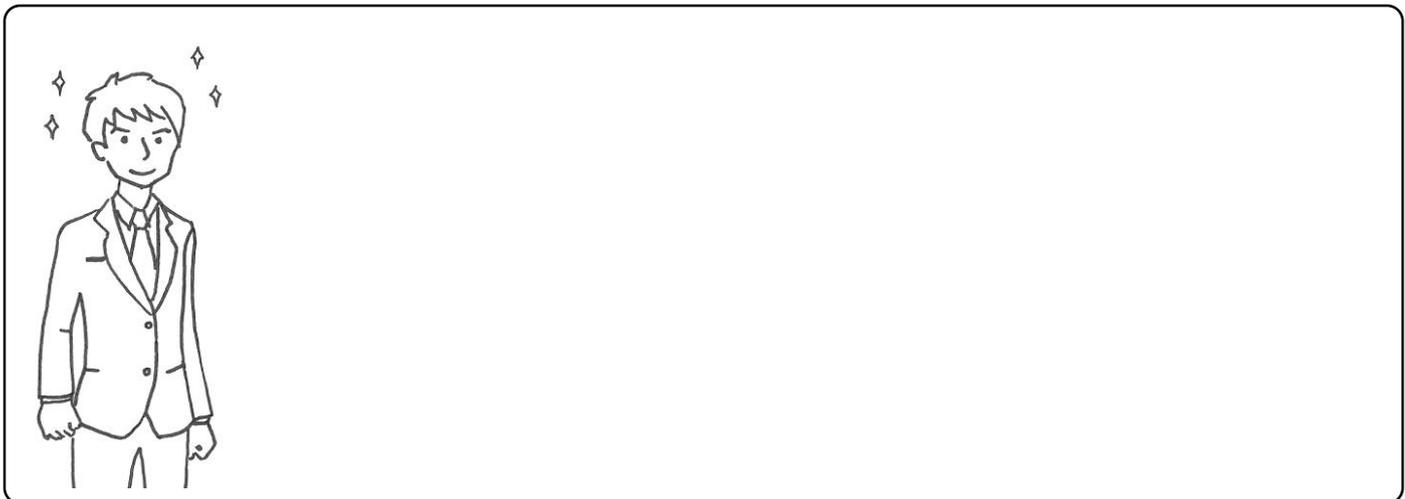
年 組 名前

こうこうせい たかさきいちろう
 高校生の高崎一郎くん。
 き 気になるところを探してみよう。



- シャツは？
汚れている、ボタンがずれている、裾が出ている
- ズボンは？
穴が開いている、しわが寄っている
- 靴は？
靴や足が汚れている（靴下や靴をはいていない）
- 髪は？
乱れている、ボサボサ、汚そう、臭そう
- 顔は？
汚れている、顔を洗っていない
- 手は？
汚れている、洗っていない、臭そう

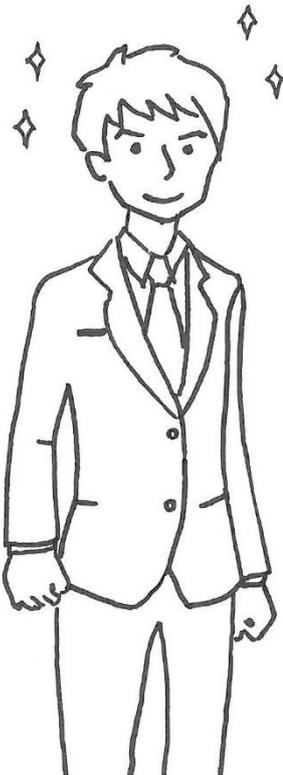
どのようなことにきをつけると、せいけつなよい感じがするでしょうか？



せいけつな身なりを考えよう

_____年_____組 名前_____

自分の身なりをチェックして、○をつけてみよう



①制服やワイシャツ、ブラウスは、きれいですか？

(きれい ・ よごれている ・ 汗臭い)

②体育着はきれいですか？

(きれい ・ よごれている ・ 汗臭い)

③うわばきはきれいですか？

(きれい ・ よごれている ・ 臭い)

④顔は洗いましたか？

(洗った ・ 洗っていない)

⑤頭は洗いましたか？

(きのう洗った ・ かゆい ・ 臭い)

⑥歯みがきをしましたか？

(みがいた ・ きたない ・ 臭い)

⑦鼻毛は出ていませんか？

(出ている ・ 出ていない)

⑧手は、きれいですか？

(きれい ・ よごれている)

⑨つめは切っていますか？

(切った ・ 切っていない)

てつだ
手伝いをしよう

_____年 _____組 名前_____

① ^{いえ}家で^{てつだ}手伝いをしていますか？ ^{てつだ}どんな手伝いですか？

はい ・ いいえ	< ^{てつだ} 手伝い>
----------	-----------------------

② クラスでは、^{しごと}どんな仕事をしていますか？

③ クラスの^{しごと}仕事や家の^{いえ}手伝いは、^{てつだ}だれのためにやっているのでしょうか？



クラスの^{しごと}仕事は…

^{いえ}家の手伝いは …

④ ^{てつだ}手伝いをすると、^{きもち}どんな気持ちになるのでしょうか？

^{てつだ}手伝いをした^{ひと}人は…

^{てつだ}手伝いをしてもらった^{ひと}人は…

⑤ ^{こうこうせい}高校生として、^{かぞく}家族の役に立って^た感謝される^{かんしゃ}手伝いを^{てつだ}考えて^{かんが}みましょう！！

じ こ しょうかい げんこう
自己紹介の原稿

とくべつし えんがっこう ねん
 _____ 特別支援学校 _____ 年の _____ です。

がつ にち がつ にち にちかん
 _____ 月 _____ 日から _____ 月 _____ 日までの _____ 日間、

げんばじっしゅう せ わ
 現場実習でお世話になります。

ねが
 よろしくお願ひします。

きにゅうれい
【記入例】

じ こ しょうかい げんこう
自己紹介の原稿

〇〇〇 とくべつし えんがっこう ねん
 _____ 特別支援学校 **1** 年の **渋谷 太郎** です。

9 がつ 7 にち 9 がつ 18 にち にちかん
 _____ 月 _____ 日から _____ 月 _____ 日までの **10** 日間、

げんばじっしゅう せ わ
 現場実習でお世話になります。

はじめてで きんちょうしていますが

いっしょうけんめい がんばりますので

ねが
 よろしくお願ひします。

げんばじっしゅう む ころがま
現場実習に向けて～心構え～

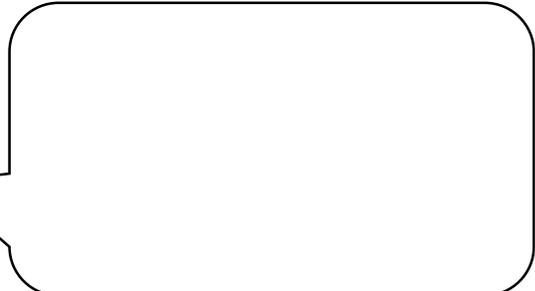
_____年 _____組 名前_____

こんなときどうしよう？

しごと
仕事、
つかれたな…



いた
おなか痛いな…
トイレ
行きたいな…



おはよう…ございます…
ちい
(小さくて
き
聞こえない)



じっしゅうにっし
実習日誌、
か
書きたくない…
なに か
何書けばいいの？



まちが
間違ったり
しっぱい
失敗したら
おこられるかな…



福祉サービス事業所の種類と特徴

就労移行支援

※「就労移行」と略す場合があります。

- ・ 一般事業所での就労を目指す人が対象で、働くために必要な知識や能力を身に付ける施設です。
- ・ 施設外での職場実習も支援しています。
- ・ **期限は2年間**です（1年間の延長も有り）。就労が難しかった場合には、就労継続支援A型や就労継続支援B型、地域活動支援センターに行くこともあります。

就労継続支援A型

※「継続A」「A型」と略す場合があります。

- ・ 就労継続支援（雇用型）とも呼ばれ、就職活動を行ったが雇用に関わりがなかった人や、就労移行支援事業を利用したが雇用に関わりがなかった人が、雇用契約をして給料をもらいながら働く施設。
- ・ 一般事業所に近い形で運営している施設が多く、仕事の難易度は高い。

就労継続支援B型

※「継続B」「B型」と略す場合があります。

- ・ 就労継続支援（非雇用型）とも呼ばれ、一般就労が難しい人が雇用契約を結ばずに働く施設です。
- ・ 利用するためには事前のアセスメントが必要になります。（※1）

生活介護

- ・ 日常生活上の支援や、創作的活動、生産活動の機会を提供する施設です。身体機能や生活能力の向上のために必要な援助も行います。
- ・ B型と併設されていることが多く、生産活動を重視している施設もあります。

地域活動支援センター

※「地活（ちかつ）」と略す場合があります。

- ・ 創作的活動または生産活動の機会の提供を行っている施設です。施設によって生産活動に力を入れている度合いが異なります。
- ・ 市町村から委託を受けたNPO法人などが運営しています。「障害福祉サービス事業」とは異なり、障害を6段階に分ける「障害支援区分認定」を受ける必要はなく、利用料の原則1割負担もありません。

※1【就労継続支援B型の利用について】

特別支援学校卒業後、就労継続支援B型を直接利用する場合、アセスメント（査定、評価）が必要です。長期休業中に就労移行支援事業所で実習をして査定、評価を受けます。市町村によって対応が異なっているので、在住する市役所・町村役場の福祉課で確認することが必要です。

福祉サービス事業所の選び方のポイント

<p>①本人の適性</p>	<p>必ず見学・体験を行いましょう</p> <p>施設の環境、指導方針、雰囲気、仕事内容、本人との相性があります。できれば現場実習だけではなく、長期休業中を利用して見学や体験を行いましょう。</p> <p>学校の現場実習以外で体験する場合には、福祉サービスの利用として、『日中一時支援サービス』を利用することになります。その場合は、市町村から受給者証をもらう必要があります。申請から発行までには数週間かかる場合もあるので、早めに福祉課や相談支援事業所に相談をしておきましょう。</p>
<p>②通所方法</p>	<p>負担なく通所ができますか？</p> <p>1. 自力での通所 徒歩や自転車で通う場合、『毎日通える距離』であるかが重要です。体験実習等の短期間は可能でも、毎日通い続けるには負担になる場合があります。 公共交通機関を利用する場合は、最寄りの駅や停留所までの距離、始業終業の時間に合うものがあるか、通勤費が工賃を超えていないか注意しましょう。</p> <p>2. 送迎サービスの利用 自宅近くに乗降場所があり、そこまでの移動手段が確保されているかどうか確認しましょう。</p> <p>3. 保護者送迎 <u>毎日通うこと</u>を考えると、保護者の負担にならないことが重要です。よく検討しましょう。</p>
<p>③仕事の難しさ</p>	<p style="text-align: center;"> 難 A型 ≧ 就労移行 > B型 > 地活 > 生活介護 易 </p> <p style="text-align: right;">※例外あり。</p>

【参考資料】※H28年2月末現在の情報です。

厚生労働省 Web ページより

障害者総合支援法における「障害支援区分」への見直し

http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/other/dl/140121_01.pdf

障害支援区分の認定調査 80 項目

群馬県 Web ページより

群馬県内の施設について、健康福祉部関係施設等一覧

[トップページ](#) > [健康・福祉](#) > [福祉・健康べんり帳](#) > [健康福祉部関係施設等](#) > 障害政策課 所管施設等 (pdf ファイル)

<http://www.pref.gunma.jp/contents/000340969.pdf>

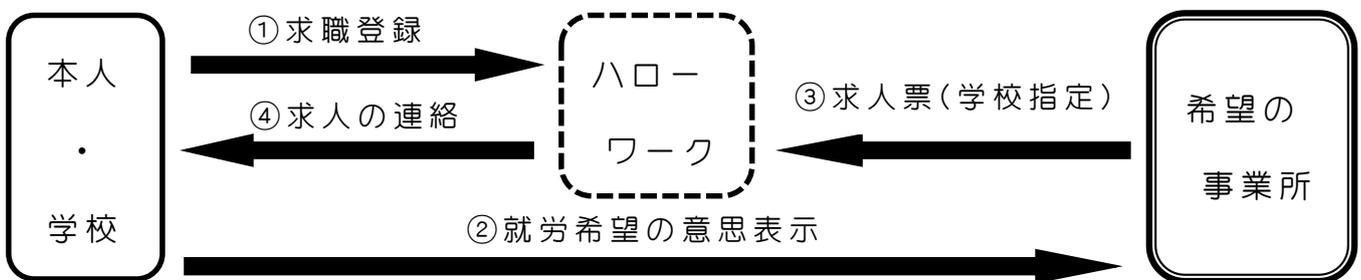
一般就労までの手続きの流れ

手続きを進める前に…

- ・進路面談で、本人と保護者の就労への意思を確認します。
- ・校内実習や現場実習を通して、生徒の適性や課題を見極めます。また、進路指導主事や学年主任と相談しながら就労の可能性を検討します。

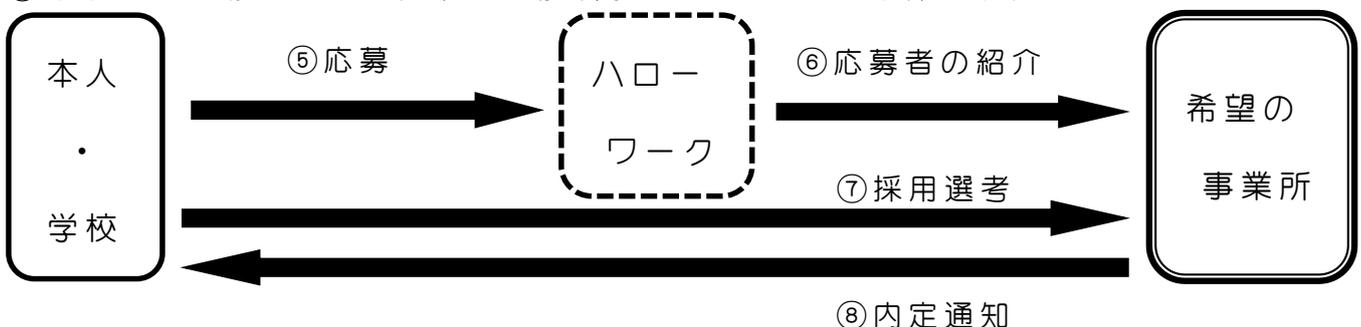
1. 求人登録～求人票が出るまで

- ①ハローワークに求職登録をします。(担当者が来校してくれる場合もあります。)
- ②事業所に就労希望の意思を伝えます。
- ③成立すると学校指定の求人票がハローワークに届きます。
- ④ハローワークから連絡が来ます。



2. 応募～内定通知が出るまで

- ⑤求人票の内容を確認してハローワークに応募をします。
(雇用形態：正社員、パート、賃金、就業時間、加入保険等)
- ⑥ハローワークは、応募を受けて事業所へ採用選考の依頼をします。
- ⑦履歴書、調査書を用意して事業所へ採用選考の申し込みをします。
(選考は面接が中心です。各書類は校長の決裁が必要なので、早めに起案をしましょう。)
- ⑧採用された場合は、事業所から勤務開始に当たっての条件や手続きが通知されます。



3. その他（重度判定）

群馬障害者職業センターで職業上の重度かどうかを判定します。来校して実施してくれる場合もあります。療育手帳の判定における『重度』とは無関係です。この判定により、本人を支援するための事業所への補助金が増えるので、雇用へのハードルが低くなり、結果的に就労の可能性が高まります。

個別面談のお知らせ

お世話になります。 月 日 時 分から、場所： で行います。
 先日の現場実習の様子と課題、次回の実習先についてお話ししたいと考えています。
 「今後の見通し」について、事前にご家族で相談していただければと思います。
 当日は、このプリントを持参してください。

現場実習振り返りシート

生徒氏名 _____

現場実習先 _____

今回の実習の様子

基本的な生活習慣 <<あいさつ・返事・報告・言葉遣い・服装・着替え・身体や衣服の清潔感
 ・食事のマナー・トイレの使い方等>>

・よくできたこと

・今後の課題

作業能力 <<態度・理解度・技能・能率・持久力・集中力・状況判断・仕事(活動)への意欲等>>

・よくできたこと

・今後の課題

人間関係 <<周りの人との接し方・コミュニケーション・昼食時や休み時間の過ごし方等>>

・よくできたこと

・今後の課題

時間 <<勤務時間(遅刻、欠勤)、食事時間(時間内で食べられるか)等>>

・よくできたこと

・今後の課題

今後の見通し

※今、分かっている範囲で教えてください。

・次の実習の希望先(福祉サービス事業所は第3希望まで)

・卒業後の進路と生活の場所(自宅、親戚宅、グループホーム、施設入所など)

現場実習振り返りシートの使い方

- 面談のお知らせとして活用します。
- 現場実習先からの評価表、担当教員が巡回したときの様子、反省会での担当者からの言葉から、『よくできたこと』と『今後の課題』をまとめておき、『よくできたこと』については記入して事前に配付しておきます。
- シートの下にある『今後の見通し』について、事前に家族で話し合っておいてもらうことで家族の希望が分かり、面談が円滑に進みます。

生活費のシミュレーション

注意！！ あくまでも一つの例です。必ずしも同じ金額がもらえるわけではありません。

	 Aさん 19歳	 Bさん 19歳	 Cさん 19歳	 Dさん 19歳
日中活動	一般事業所勤務	一般事業所勤務	B型施設	B型施設
生活の場	アパートで一人暮らし	グループホーム	グループホーム	自宅
通勤・通所方法	バス片道 200円 (手帳で半額 100円)	自転車	バス片道 200円 (手帳で半額 100円)	施設の送迎バス
給与・工賃	120,000円	120,000円	16,000円	16,000円
家賃	40,000円	60,000円 (平日朝・夕食含)	60,000円 (平日朝・夕食含)	—
光熱費	10,000円	↑家賃に含む	↑家賃に含む	—
食費	40,000円	25,000円 (平日昼、土日分)	25,000円 (平日昼、土日分)	※施設利用料に含む
通信費	5,000円～	5,000円～	5,000円～	—
交際費	5,000円～	5,000円～	5,000円～	—
雑費	10,000円～	10,000円～	10,000円～	—
施設利用料	—	—	17,600円(昼食代込 1日 800円)	17,600円(昼食代込 1日 800円)
その他	4,400円(バス代)	家賃補助 +10,000円	4,400円(バス代) 家賃補助 +10,000円	—
支出合計	114,400円～	95,000円～	117,000円～	17,600円
収支	5,600円	25,000円	▼101,000円	▼1,600円
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・日中活動は、22日/月で計算しました。 ・県内障害者事業所の平均工賃 21,304円。 就労継続支援B型事業所のみ平均工賃 16,979円 (H26群馬県) ・グループホーム利用には、市町村から 10,000円家賃補助があります。 ・Dさんについては、生活費のほとんどが保護者の支払いになるので、施設利用料と工賃のみ算出しました。 ・障害基礎年金(20歳から) ※受給できない場合あり。 1級障害 年額 975,100円 (月額 81,258円) 2級障害 年額 780,100円 (月額 65,008円) <p style="text-align: right;">※平成 28年 2月現在の情報です。</p>			

《補足》

- Aさんは、収支がほぼ同じで貯金できる分がありません。家賃、交際費、雑費を削って行く必要があります。卒業後すぐに一人暮らしをするのは、とても大変なことです。まずはグループホームを利用して毎日働く生活に慣れ、ある程度の貯金も行うことが大切です。
- Bさんは、少しずつ貯金ができるくらいのお金が残りそうです。将来の一人暮らしにつながるような理想的な生活の形だと思います。
- Cさんは、かなりの赤字です。20歳になって年金が受給できるまでは、保護者の支援が必要になります。より安いグループホームを探したり、交際費、雑費を切り詰めたりする必要があります。
- Dさんは、わずかですが赤字です。年金が受給できるまでは、保護者の支援を受けながら生活する必要があります。

卒業後の生活 ～グループホーム～

※共同生活援助事業

グループホームとは？

障害のある人が少人数で共同生活をする場所です。そこから、一般事業所（会社）や福祉サービス事業所（施設）に通います。

どんなところに住むの？

一戸建てやアパートを改装してグループホームにしているところが多いです。台所、食堂、居間、トイレ、お風呂、洗面所などは共用の場合があります。

何人で住むの？

定員は4～6名が多いです。個室の場合もありますが、通常は2～3人部屋です。

世話人とは？

基本的に自分のことは自分でしますが、できないことをできるように助言してくれたり、手伝ったりしてくれる人です。夜間も常駐してくれるホームもあります。

食事は？

平日の朝食、夕食は出ますが、休日は出ないところもあります。

家賃は？

家賃、食費、光熱費、その他で、4～10万円くらいと幅が広いです。自己負担金の減免や家賃助成を行っている市町村もありますから確認しましょう。

グループホームは、施設ごとに規模もサービスも大きく異なります。他の利用者との共同生活なので、食事の準備や掃除分担など、ホームによってルールも様々です。

まずは相談支援事業所に相談して、見学や体験を行ってみましょう。

<参考文献>

高崎市グループホームガイドブック 『くらしーる』

※他市町村の情報はありませんが、グループホームのイメージがよく分かると思います。

～グループホームで暮らすBさんの一日～

7:00～	朝食 
8:30	出勤
9:00～17:00	仕事 (福祉サービス事業所に通所している人もいる) 
17:30～21:00	夕食 (片付け当番あり) 入浴、掃除、洗濯、自由時間など 
21:00	消灯 (食堂、ホール) 各自の部屋で過ごす
22:00	就寝 

◆週末は、ホームの仲間と出かけたり、地域のサークル活動に参加したりそれぞれ過ごしています。休日に昼食が出ない場合は、スーパーに買い物へ行くこともあります。また、世話人さんと調理をすることもあります。

※グループホームでの生活は、特別支援学校の寄宿舎とは違います。家庭を出ての他者との共同生活です。毎週末に家庭へ帰ることはなく、『何か特別な用事があるときには実家に帰る』というイメージだと考えてください。

